

仮設足場板の床隙間防止金物の開発

特許出願中!

仙建工業株式会社 建築本部 建築部

佐藤 勝士

建築本部 建築技術設計部

香月 健一

背景と目的

- ・現在使用している仮設用足場は、メーカー品の材料を使用して組立を行っている。
- ・これらのメーカー品は、組立解体をスムーズに行うべく、多少の遊びを設けており、その遊びによって足場板の隙間が大きくなるが生じていた。
- ・労働安全衛生規則563条(作業床)の規定値30mm以下になる金物を新たに開発することとした。

開発前の問題点



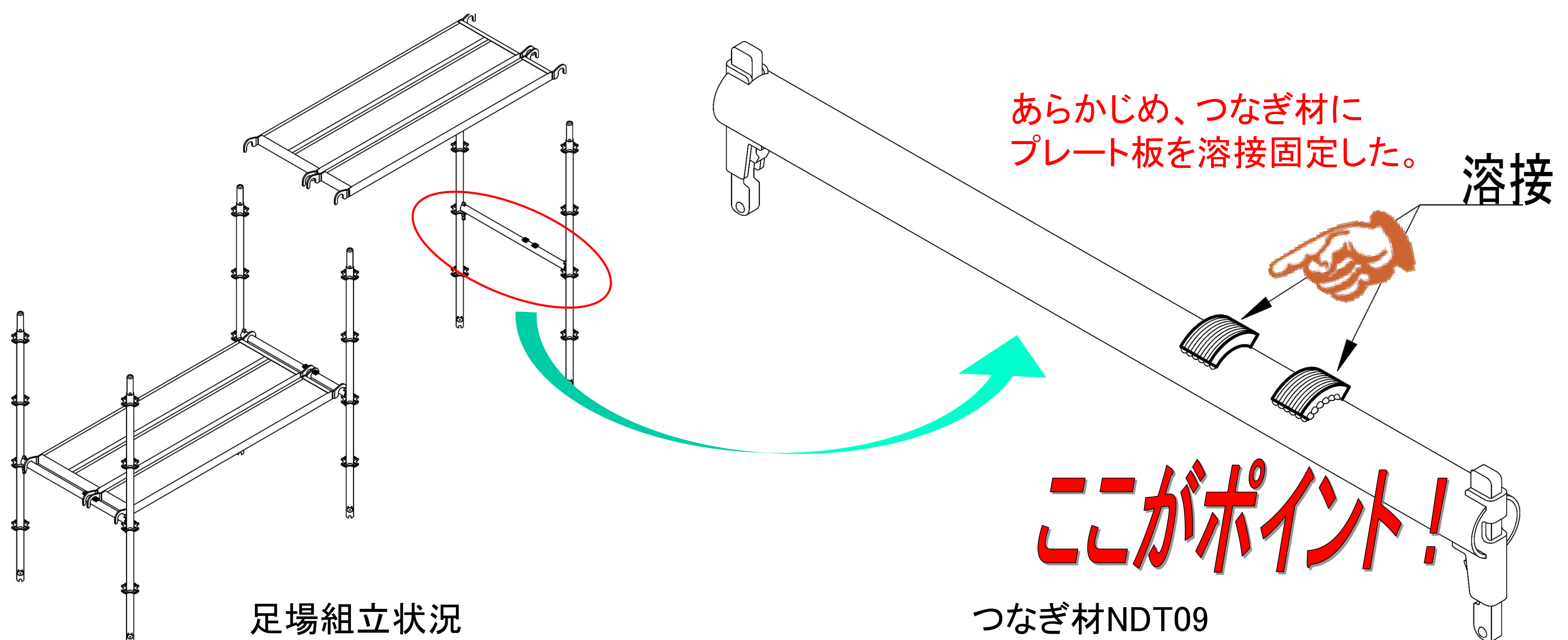
開発してよくなった点



足場板を敷設後の隙間が30mmを超えやすく、度々労働基準監督署等から指摘を受け、その都度、結束バンド等で固定していた。

足場板同士の隙間が24mm以内になり、法規則の基準を遵守することが可能になった。

開発したもの



【特徴】

- ・足場組立の際に、自動的に隙間防止対策を可能とした。
- ・従来の結束バンドによる固定や足場解体時のバンド外しの手間が省くことができる。
- ・取り外したバンドのごみ発生を抑制できる。
- ・労働安全衛生規則563条(作業床)の基準を守ることができる。